



国際プラザニュース



発行: (公財) 宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 E-mail: miyainfo@mif.or.jp ホームページ: <https://www.mif.or.jp/>
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日



国際プラザ休館日のお知らせ



5月3日(金)~6日(月)は祝日のため
宮崎県国際プラザは休館します。

2024年度(公財)宮崎県国際交流協会の事業紹介

(公財) 宮崎県国際交流協会では様々な講座を開催する予定です。開催時期が近づきましたら、詳しい情報をホームページ(<https://www.mif.or.jp/>)、Facebook、プラザニュースにてご案内いたします。

【外国人住民支援】

- 外国人住民向け防災セミナー
- 外国人災害サポートボランティア養成講座
- 多文化共生に関する講座



【国際交流】

- 国際ふれあいチャット(英語・中国語・韓国語)
- 日本伝統文化体験講座
- 国際理解講座

【日本語学習】

- 日本語スピーチコンテスト
- その他、日本語を学習したい外国人住民向けの講座や日本語学習支援をしたい地域住民向けの講座も予定しています。詳しくは、ひなたにほんごナビでご確認ください。

【イベント・行事】

- 世界とトモダチみやざき国際フェスタ
- 外国人住民によるアートフェスティバル作品展

【ボランティア】

- 日本語ボランティア(外国人住民の日本語学習を支援します)
- 通訳ボランティア(交流行事の場における通訳を行うボランティアです)
- ホストファミリーボランティア(宮崎県に滞在する外国人のホームステイを受け入れます)
- 外国人災害サポートボランティア
- 宮崎県国際プラザカウンターボランティア(前期: 4月~9月、後期: 10月~3月)



【講師派遣】

- 多文化共生アドバイザー派遣制度(地域で開催する国際理解講座等に無料で講師を派遣します)

【刊行物】

- South Wind(年2回発行)
- Living in Miyazaki(毎月最終週に宮崎日日新聞に英語で掲載)
- プラザニュース(毎月発行)

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会

国際ふれあいチャット 前期 ※要申込み

県国際交流員や外国人ボランティアさんと英語・中国語・韓国語でおしゃべりしましょう!

【英語】

◇日時: 6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13
土曜日 全6回 10:30~11:30
◇締切: 5月25日(土) ◇定員: 10名

【中国語】

◇日時: 6/4、6/11、6/18、6/25、7/2、7/9
火曜日 全6回 18:00~19:00
◇締切: 5月21日(火) ◇定員: 5名

【韓国語】

◇日時: 5/30、6/13、6/27、7/11、7/25、8/8
木曜日 全6回 18:00~19:00
◇締切: 5月21日(火) ◇定員: 5名

☆対象: 各言語において日常会話ができる方

☆場所: カリーノ宮崎 地下1階

☆受講料: 賛助会員・学生 1,000円(6回)

非会員 3,000円(6回) 中学生以下 500円(6回)

☆申込方法: 氏名・電話番号・メールアドレスを、来館、電話、またはメールにてお申し込みください。

(※応募多数の場合は賛助会員、初めて受講する方を優先)

☆申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会

(担当 英語: 飯塚 中国語: 新里 韓国語: 小原)



国際理解講座 ~オーストリア編~ ※無料・要申込み 「オーストリアってどんな国？」

- 極上の音楽とSDGs先進国 -



オーストリアに移住経験のある講師をお招きし、オーストリアの生活や文化、SDGsへの取り組み等についてお話しいたします。

◇日時: 7月6日(土) 14:00~16:00

◇場所: カリーノ宮崎 地下1階 会議室

◇講師: 国崎 さやか 氏

◇定員: 30名(先着順) ◇参加費: 無料

◇申込方法: Googleフォーム、または来館、電話、Eメールにて氏名・電話番号、メールアドレスをお知らせください。

◇締切: 6月25日(火)

◇申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会(担当: 飯塚)



Googleフォーム



「ひなたにほんごナビ」のご案内

「ひなたにほんごナビ」は、宮崎県内で日本語を学びたい外国人住民や日本語学習を支援したい日本人住民のために情報を掲載するポータルサイトです。各市町村等で実施されている日本語講座や学習支援者養成講座などの取組みを掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<https://hinatanihongo.mif.or.jp/>



◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会

国際交流員とのおしゃべり会♪ ※無料・要申込み

県の国際交流員と日本語で楽しくお話しませんか？

★キャサリンさん：イギリス出身

◇日時：5月17日（金）15:00～16:00

◇締切：5月10日（金）



★ユーディンさん：シンガポール出身

◇日時：5月21日（火）18:00～19:00

◇締切：5月14日（火）



★ヘジョンさん：韓国出身

◇日時：5月16日（木）15:00～16:00

◇締切：5月9日（木）



◇場所：カリノ宮崎 地下1階 宮崎県国際プラザ

◇定員：4名（参加回数の少ない方を優先し先着順）

※申し込みは電話、来館、メールにて受け付けます。

◇申込・問合せ：（公財）宮崎県国際交流協会（担当：小原）

みやざき外国人サポートセンターの事業案内

【相談】

- ・センター相談員による相談（対面・オンライン）
- ・生活相談員による外国人のための生活相談（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語で相談ができます）
- ・出張相談会（県内各市町村）
- ・外国人のための生活・法律相談会（弁護士・行政書士が生活に関する相談に対応します）

【対応できる言語】（翻訳機・電話通訳を使用する時があります）

英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ミャンマー語、モンゴル語、クメール語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語
★外国人を支援されている方からのご相談にも対応します。

【対応時間】

火曜日から土曜日 10:00～19:00

Tel:0985-41-5901 Fax:0985-41-5902

E-mail: support@mif.or.jp

詳しくはサポートセンターホームページ、Facebook、インスタグラムをご覧ください。



<ホームページ> <Facebook> <Instagram>

JICAデスク宮崎よりお知らせ

今回の説明会では、宮崎県から海外協力隊に参加し戻ってきた方の体験談が聞けます。まずは話を聞いてみるだけでも大歓迎！お気軽にご参加ください。

JICA海外協力隊募集説明会 in 宮崎 （ご予約はこちらから）

日時：6月1日（土）14時～16時

場所：KITENビル 8階 中会議室

（住所：宮崎県宮崎市錦町1-10）

（開催日前日の12:00までにご予約された方には、事前にご案内メールをお送りいたしますが、予約なしでもどなたでもご参加いただけます。）

★★★JICA海外協力隊 2024春募集★★★

応募期間：5月17日（金）～7月1日（月）

あなたも海外協力隊に参加しませんか？

お問い合わせ：JICAデスク宮崎 →



国際化推進事業費補助金制度のご案内

県内の民間団体が国際交流事業を行う場合、次の条件により事業費の一部を補助します。

希望される団体は申請関係書類をお送りしますので、ご連絡ください。事業内容等を審査し、交付団体を決定します。補助金は精算払いにより交付します。

◇対象事業：団体が行う県民の国際交流の推進に寄与する先駆的・効果的な事業で、原則として一般県民が参加できる事業、又は、一般県民への波及効果があるもの。

◇対象経費：上記事業の実施に必要な経費（団体運営費は除く）

◇補助金：事業費の2分の1以内（限度額10万円）

◇申請締切日：9月末日

◇問合せ：（公財）宮崎県国際交流協会（担当：橋本）



♪プラザニュース 英語版より

「人生の本質についての思索」



協会ボランティア
サルダール シナ

私は子供の頃から、山が海に接し、野原が花で彩られた場所で暮らすことを夢見ていた。そしてある日、日本に足を踏み入れたとき、私の夢が叶った。日本との出会いは、私の心に忘れがたい足跡を残した。

まず私は、日本の「おもてなし」文化に驚かされた。「おもてなし」とは、無私心、親切心、他人への気配りを意味する言葉である。そして、美しい自然に囲まれて過ごすことは、心の美しさを高めることにつながると気づいた。

最近、私は鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れた。そこで目にした光景は忘れがたく、戦争の悲惨な現実と平和の追求についての理解を深めた。館内の展示品は、個人の遺品、手紙、写真などを鮮明に描き出している。そのなかで、若い特攻隊員が愛する人に宛てた別れの手紙を読んだ。その手紙を読んで、戦争の惨禍によって絶たれた若い命への深い共感と悲しみを感じずにはいられなかった。

セミは、短い間しか生きられない。その短い命の間、次の世代へ命を繋ぐために交尾と卵を産むことだけに集中する。セミの短い一生のように、若者たちが率先して自らの命を犠牲にしたことにより、戦争がいかに恐ろしいものかを後世に伝え、平和に向けて努力するよう皆を励まし、愛国心や愛情を伝えた事実には私は驚嘆する。暗い時代であっても、明るい未来への希望は常にあることを思い出させてくれた。

春の訪れ、東の間の「桜」は、新たな始まり、希望、復興の象徴だと思う。

